

## 看護学科 1年 前期 総合科目

1. 人間関係論
2. 心理学
3. 地域つくりかえ学
4. 基礎英語
5. 日本文化
6. 日本語表現技法
7. 情報処理 I

## 看護学科

科目名: 人間関係論			担当教員 氏名: 尾山 敦子			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	総合科目	講義	必修	交流分析士2級受験資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 県内の各病院や医療法人で遭遇研修を行っている実務経験を活かして、心理学的視点からの接遇を体験学習する。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
<p>・人間関係論は、人間性心理学(交流分析)を中心に学習し、講座を通じて「自他を受け入れ認められる人」「人と親密に係ることができる人」を目指す。</p> <p>・自己のパーソナリティの認識と改善、他者への気づきと円満な対応、状況と相手に相応しいやりとり選択、効果的なストローク(ふれ合い)交換、自己の感情や行動の傾向に気づいて改善する。</p> <p>・交流分析スローガン「人は誰でもOKである。過去と他人は変えられない。変えられるのは未来と私。自分が変われば相手が変わる。」</p>						<p>・人間性心理学 ・人間力</p> <p>・交流分析(TA)</p> <p>・エゴグラム</p> <p>・パーソナリティ理論</p> <p>・コミュニケーション法</p> <p>・やりとり・傾聴・ストローク</p>
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			・自己のパーソナリティ認識と成長法			
E 自己管理能力			・人生の構えのゆらぎと改善、・人生脚本の書き換え等			
F チームワーク・リーダーシップ			・自他のパーソナリティを認識した関わり方・やりとりパターンの改善(傾聴法、アサーションを含む)・ストローク授受の改善			
G 倫理観			・自他受容(人は誰でもOKである。人は誰でも考える力を持っている)			
H コミュニケーション力			・エゴグラム分析、・やりとりパターンの改善、・ストローク授受の改善			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 90 %		レポート: %		発表: %		実技試験: %
その他: 10 %						
特記事項: アクティブラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 随時実施する。補習・試験日に期末テストを実施する。(テスト・レベルは上述の到達目標による)						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テスト並びに提出課題については次回にフィードバックをし、確実な講義内容の修得と、支援活動における実践力養成につなげる。なお希望者には随時個別面談を行う。						
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)
						学習内容
						学習に必要な時間(分)
①【尾山】人間関係論とは何か 人間関係論の必要性と目的 自己紹介(グループワーク)				オリエンテーション 自画像と他画像		
②【尾山】自我状態とは何か 自我状態の構造分析(シートP1)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
③【尾山】「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能分析その1)(シートP2)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
④【尾山】「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能分析その2 エゴグラム心理分析)(シートP3・4)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑤【尾山】「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能、肯定的側面と否定的側面)(シートP5・6)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑥【尾山】自我状態の改善による自他への肯定的人間関係の構築(エゴグラム活用ガイド問題記入提出)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑦【尾山】人間関係論の概要と自我状態のまとめ やりとり分析その1 やりとり分析とは				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑧【尾山】やりとり分析その2 刺激と反応によるやりとりの三つのパターン・相補交流(シートP7・8・9)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑨【尾山】やりとり分析その3 刺激と反応によるやりとりの三つのパターン・交差交流・裏面交流(シートP10・11・12)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑩【尾山】やりとり分析その4 快い交流を図るには(シートP13)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑪【尾山】ストロークとは何か その重要性和効果・ストロークの種類(シートP14)(エゴグラム活用ガイドフィードバック)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑫【尾山】ストローク飢餓とは(シートP15・16・17)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑬【尾山】ストロッキング・プロフィールによる心理分析(シートP18~22)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑭【尾山】快いストローク交換を心がけよう(シートP23) ディスカウントとは(シートP24)				【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習		【予習】20分 【復習】30分
⑮【尾山】ディスカウントの領域(シートP25) 全体講義内容のまとめと自己改善の行動目標設定				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】20分
使用テキスト: 「交流分析士2級テキスト」「交流分析士2級TAシート」(NPO法人日本交流分析協会発行)、エゴグラム活用ガイド ※随時プリントを配布します。				その他参考文献など: TA TODAY 最新・交流分析入門 T・スチュアート 著 V・ジョインズ 著(実務教育出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 「自分を受け入れ、人をも受け入れることができる人」「自他のパーソナリティを認識し、それにふさわしい対応ができる人」を目指す。人にとって人間性豊かな係わりは、何物にも代え難く有り難い励ましである。人間関係論は、今後の人生を通じて、色々な場面で、いつも役に立つ。人間関係論(交流分析)は心理カウンセラーへの導入路でもある。 「人間関係論」と後期の「コミュニケーション論」の両方を受講した人には、2月頃実施のNPO法人日本交流分析協会「2級交流分析士」(登録商標)の受験資格が与えられる。						

## 看護学科

科目名: 心理学			担当教員 氏名: 坂本 美奈子						
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考				
2	1年次	前期	総合科目	講義	選択				
実務経験を用いてどのよ うな授業を行っているか:		臨床心理士として実務経験を30年以上になる。アドラー心理学を基本に実践できる心理学を学習し患者だ けでなく看護師同士のコミュニケーション力を身につけます。							
キーワード									
心理学の授業を通して、自己を理解し他者受容の大切さを学びます。アンガーマネジ メントや認知療法を習得し、看護の現場で役立つ感情コントロールやストレス耐性を身に つけます。				家族地図 心理学の領域 認知療法 患者の心理 看護の心理					
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10					
A 知識・理解力		人間の理解を深める							
D 問題解決力		自己理解を深める							
E 自己管理能力		現場に適応できる力を養う							
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	40 %	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートにコメントや成績をつけて返却する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な 時間(分)				
①オリエンテーション				毎回の事後学習として、授業で					
②自己理解を深める①				学んだことを通して、自己肯定					
③自己理解を深める②				感と他者肯定感をバランス良く					
④心理学の実習1(欠点を長所に生かす)				高めるにはどのようにすれば良					
⑤コミュニケーションスキル①アジェンダトレーニング				いか練習(実践)していきましょ					
⑥コミュニケーションスキル②倫理療法				う。					
⑦心理学の実習2(人生曲線)				【予習】60分【復習】60					
⑧ストレス対策(認知療法)				分					
⑨スキーマの修正				【予習】60分【復習】60					
⑩家族地図を作る				分					
⑪家族地図を発表する①				【予習】60分【復習】60					
⑫家族地図を発表する②				分					
⑬構成的エンカウンター①				【予習】60分【復習】60					
⑭構成的エンカウンター②				分					
⑮総括				【予習】60分【復習】60					
				分					
使用テキスト: 特に使用しません。プリントを配布します。				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									

## 看護学科

科目名: 地域づくりかえ学				担当教員 氏名: 荒木 晴美、炭谷靖子、河相 てる美、稲垣尚恵、中村尚紀 他					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修/選択	備考			
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。						教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、「私」宣言、地域社会に生きる「私」、実践躬行			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10.				
D 問題解決力		問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。							
E 自己管理能力		地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。							
G 倫理観		自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。							
F チームワーク・リーダーシップ		【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。							
C 論理的思考力		【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。							
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	33 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	67 %
特記事項:「つくりかえレポート」と年間の「週フォリオ」を含めた様々な問題への取り組み状況によって評価する。各AD教員が、AD学生の評価にあたる。「つくりかえレポート」100点満点+「週フォリオ」100点満点評価+「自分づくりをすすめる意欲・態度」100点満点評価の合計を3で割った平均を評価点とする。 本科目は、アクティブラーニングの一環として、前期中にボランティア活動を各学生1回以上行い、後期の「富山コミュニティ論」にて活動発表を行う。 また関病記文庫感想文コンクールへの参加や演劇を通して、支援を必要とする方への共感性やコミュニケーション能力を養									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ミスカッション、ディベーター グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:「つくりかえレポート」は第7回に課す。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:適宜AD面談等を行い、返却する。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①【荒木】建学の精神、5S活動、きときとコミュニティ・サポーターとしての社会貢献				4月9日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
②【炭谷前学長】教育目標「つくり、つくりかえつくる」と週フォリオ				4月16日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
③【中村】ボランティア活動で自分発見				4月23日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
④【特別講義】地域福祉について学ぶ				4月30日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑤【特別講義】認知症サポーター養成研修				5月7日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑥【特別講義】在宅ケアにおける地域課題				5月14日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑦【特別講義】子育て支援について学ぶ				5月21日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑧【河相】アカデミック・スキルズ 大学での学び方 各学科・専攻にて実施 - 日程・詳細は後日揭示 -				5月28日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑨【荒木・稲垣】卒業生の「つくり、つくりかえ、つくる」に学ぶ 各学科・専攻にて実施 - 日程・詳細は後日揭示 -				6月5日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑩【特別講義】演劇を活用したコミュニケーション能力の向上 ①				午前:A 7月13日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑪【特別講義】演劇を活用したコミュニケーション能力の向上 ②				午後:B (火)	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
使用テキスト:大学での学びをアクティブにする『アカデミック・スキル入門』伊藤奈賀子・富原一哉編 有斐閣ブックスISBN-978-4-641-18430-5				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本学で大切にしている学びの基礎とあり方を追求する。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。									

## 看護学科

科目名: 基礎英語			担当教員 氏名: 毛利有一			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのようなホテルマンとしての経験を活かして、ホスピタリティを重視した実践的な英語について教授する。 な授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
英文法の基本を振り返りつつ、積極的に英語を話す態度を身につける。また、インターネット上にある動画を介してネイティブスピードの英語表現に触れ、日常生活の中で英語を学ぶ姿勢を培う。					看護・医療英語、リスニング、英文法、映画	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7. 8.	
A 知識・理解力			インターネット上で視聴できる素材を通し、英語圏の文化、日本語との違い等を理解する。			
B 専門的技術			正確な英語力習得を目指し、自己実現に技術が活用できる。			
H コミュニケーション力			積極的に英語を話す態度を身につける。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 70 %		レポート: %		発表: %		実技試験: 20 %
その他: 10 %						
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 試験及びレポート提出の時期は別途指示する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点后口頭で伝えるかコメントを添えて返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①第1章 緊急対応時の必須フレーズ				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
②第2章 全職種対応・厳選フレーズ				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
③第3章 看護1-①				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
④第3章 看護1-②				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑤第3章 看護1-③				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑥第3章 看護1-④				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑦中間評価と振り返り				【予習】これまでの範囲を復習する。	【予習】60分	
⑧第3章 看護2-1				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑨第3章 看護2-2				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑩第3章 看護2-3				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑪第3章 看護3-1				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑫第3章 看護3-2				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑬第3章 看護1~3				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑭第3章 看護1~3				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑮これまでの学習の総合的な振り返り				【予習】これまでの範囲を再確認する	【予習】30分 【復習】60分	
使用テキスト: 「東大病院発 医療スタッフのための英会話」ベレ出版(ISBN 978-4-86064-475-8)				その他参考文献など: Youtube, Netflix, Amazon Primeなど、動画配信サイト		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 英文法の基本を振り返りつつ、医療・看護に関する英語を学びます。また、映画などの動画によりナチュラルスピードの英語に慣れていきます。最終的な評価は、授業態度、各種試験、およびレポート等の成績によって総合的に行います。						

## 看護学科

科目名: 日本文化			担当教員 氏名: 藤橋 洋子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
看護は人の健康をサポートすることです。主に、日本の風土の中で生活している人々です、したがって人を理解するには、日本の文化(生活文化)を理解することも必要です、長い時を経て発展してきた、幅広い分野です。人はいかに生きるか、何を望むのか。日本文化の特性を学び広い視野を養い、看護職として必要な技術の中に含まれる礼儀作法を身に付ける。また、日常生活の中にある日本文化を楽しむ心のゆとりを養う。				暦 歳時記 宗教 思想 伝統文化 社会 言語 風土 茶道	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 8	
A 知識・理解力	日本の気候や風土の中ではぐくまれた日本固有の文化を体系的に学び日本人の心を知る。自己学習能力を高め、意見交換をし考えを発展させて行く。				
G 倫理観	看護師として人に接する心、慈しみの心を養い、看護の理論及び技術能力を高める。視野を広げ心豊かな感性や価値観を養い、社会の規範やルールに従って行動できる。				
H コミュニケーション力	自ら行動し、他者の理解も深めコミュニケーションができるようになる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	%
		発表:	%	実技試験:	%
				その他:	50 %
特記事項: 発表における姿勢(態度)を重要とする。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:課題レポート提出(6月初旬)、最終講義において発表課題レポート提出(7月中旬)					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:課題レポートを読み、感想や意見を記入し返却する					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①日本文化論(自然に寄り添い、多神教に基づいた生活文化)			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
②日本人の自然観(暦・二十四節気・陰陽五行・六曜)			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
③歳時記(歴史的由来・暮らしの中の仕来りと豊かさ)正月・十二支・お盆・ハレとケ・五節句			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
④人生の行事(出産・子供の成長・結婚・大人の儀式・人生の終活)			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
⑤日本人の宗教観・気質 外国から見た日本人の気質			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
⑥伝統文化 工芸・芸能・芸術の現世代の取り組みと心			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
⑦茶道(総合芸術・おもてなしの心)			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
⑧美術鑑賞(目・心・精神の栄養) デスカッション・レポート提出			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
⑨日本の教育・価値観・皇室信仰			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
⑩日本人の和の知恵(誇れる生活文化・もったいない文化)			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
⑪世間の付き合い(時候の挨拶 お中元・お歳暮 手紙の書き方 のし)			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
⑫伝統芸能(歌舞伎・文楽・能・長唄・雅楽・舞)			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
⑬世間のマナー エチケット 大和言葉 方言 ことわざ			【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分	
⑭茶・華・香・書道・武道・住居・食生活			【予習】発表テーマのまとめ 【復習】注意事項のまとめ	60分	
⑮日本の文化についての発表 レポート課題提出			【予習】茶会の下準備 【復習】指導事項のまとめ	60分	
使用テキスト: 日本の文化(講師が作成して配付します)			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): お互いに礼節を持って講義を進めて行きます。日本文化の良さを知ると外国の文化の良さも見えてくると思います。より豊かな見解を得るためにも、日常生活の中での楽しみを見つけてほしいと思って、経験したことから、講義を致します。					

## 看護学科

科目名: 日本語表現技法			担当教員 氏名: 佐山 朋子			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
文章表現の目的は自分の考えを他人に伝達することである。ことばというのは社会的な約束に支えられたものであるからその規範を自分の中いかに取り入れていけるかが問題となる。自分の手でペンを取って自己表現していくことは愉快なことであり尊いことと知る。						
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			・ことばの機能(思考と伝達)を学び、ことばには魂の解放があることに気づく			
C 論理的思考力			・わかりやすい素直な言語表現を学び、明快な文章を書けるようにする			
H コミュニケーション力			・自分の内面を深く省察できる強さと時代の動きを敏感にとらえる精神の躍動性を育てる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %		レポート: 50 %		発表: %		実技試験: %
その他: 20 %						
特記事項: レポート「50%」はその都度作文小論文の提出のことであり、その他は授業中の態度、出欠状況より判断、テストは国語表現能力を進度にあわせてする						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 2回目の講義のとき作文を書く。4回目のとき国語表現、漢字等の基礎的テスト実施。5回目のとき原稿用紙表記を兼ねてエッセイ提出。8回目のとき時事問題テーマに作文提出。10回目のとき日本語についての総論文提出。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: その都度採点し、アドバイスし返却する。						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な時間(分)
①ことばの機能・話しことばと書きことば					60分	
②文章を書く -用語と表記- 文章を書くための心得					60分	
③用語 -使用することば- 和語・漢語・外来語					60分	
④表記-漢字について ひらがなについて・符号について(句読法)					60分	
⑤原稿用紙の基本 種類・表記上の諸注意 訂正の仕方					60分	
⑥文章表現の手順 主題・題材・構想					60分	
⑦さまざまな文章 各文に学ぶ					60分	
⑧報道・新聞の文章					60分	
⑨実用文の書き方 手紙文					60分	
⑩レポート・就職作文・小論文					60分	
⑪範例を読む 1「いま必要な哲学者の言葉」					60分	
⑫範例を読む 2「生と死の歳時記」					60分	
⑬範例を読む 3「宮澤賢治の世界」					60分	
⑭範例を読む 4「宮澤賢治の世界」					60分	
⑮範例を読む 5「文章と修業と修行」					60分	
使用テキスト:					その他参考文献など:「日本語の表現」 新聞・雑誌等の記事をタイムリーに紹介する	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 日本語とは何かの原点を学び、母国語への愛情と愛着を持つことによって書くことの楽しさを知る。 日常生活の中で自己を的確に表現する。 コミュニケーションの手段としての必要性を認識する。						

## 看護学科

1年

科目名: 情報処理 I				担当教員 氏名: 伊達 伸之輔		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
近年の医療・福祉の現場において、電子カルテ等をはじめとして急速に情報化が進み、情報化スキルの必要性が高まっている。この科目では、コンピュータやネットワークの基本知識を学習し、各種ソフトウェアの基本的な活用能力を演習をとおして修得する。					コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、ワード、パワーポイント、エクセル	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 8.	
A 知識・理解力			・コンピュータ、ネットワークの基礎知識、情報リテラシーを理解する。 ・Windows7の基礎知識を学習する。			
D 問題解決力			・文書作成ソフト「Microsoft Word」、プレゼンテーションソフト「Microsoft Power Point」、表作成ソフト「Excel」の基本操作を修得する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験: 50 % その他: 50 %
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブ・ラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に毎回課題演習を行う。また授業期間の中間と最後に実技試験を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。また複数回実施する実技試験については採点結果を伝える。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
① コンピュータとネットワークの基礎知識の理解				インターネットについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
② 情報システムの基礎知識の理解				情報のセキュリティについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
③ Windows10の基礎知識と基本操作の理解				Windowsについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
④ Wordによる文書作成(基本的な文字入力)				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑤ Wordによる文書作成(案内状などの作成)				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑥ Wordによる文書作成(表作成)				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑦ Wordによる文書作成技術を再確認する。				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑧ Excelによる表作成				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑨ Excelによるグラフ作成				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑩ Excelによる数式・関数の活用				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑪ Excelの基本操作を再確認する。				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑫ PowerPointによる資料作成(簡書き機能など)				PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑬ PowerPointによる資料作成(図の作成)				PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑭ PowerPointによる資料作成(プレゼン資料の作成)				PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑮ Word、PowerPoint、Excelの基本操作を再確認する。				Word、PowerPoint、Excelの予復習をする	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 電子コンテンツの「できるWord2013」、「できるPowerPoint2013」、「できるExcel2016」(インプレスジャパン)				その他参考文献など: 情報リテラシー(noa出版) Officeソフトで作る文書ドリル全55題(noa出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習を行うこと。						